



ITがきり拓く新しい農業

農林水産省委託IT研究プロジェクト
「データベース・モデル協調システムの開発」成果集

目次

農林水産省委託IT研究プロジェクト「データベース・モデル協調システム」 プロジェクトのねらいと特徴	1
圃場や温室の情報を効率的に収集する フィールドサーバー 一畠を計測し見張る さまざまな現場情報センシング技術の開発	3 4
生産者・流通・消費者を結びつける 携帯電話による生産履歴とトレーサビリティ VISP特許と農産物情報のユビキタス化	5 6
大量のデータを分かりやすく整理・分析する 露地野菜の適地適作を支援する 農業技術体系データベースによる営農計画支援 施設植物生産を支える応用ソフトウェア 連続した大量なデータから予測モデルを構築するシステム フォーマットの異なる栽培試験データの統合と共通データベースの開発 画像から必要な情報を取り出す技術の開発 海洋と水産生物の情報をリアルタイムに解析・提供するシステム	7 8 9 10 11 12 13
膨大な文書情報を意思決定に役立てる 電子メールを宝の山へ 膨大な文書から知識を引き出す	14 15
ばらばらの情報を結びつけ連携させる データベース・モデル協調システムの実現 データ仲介MetBroker プログラムのメニューの言語を自動的に変更する	16 17 18
プロジェクトに連携した農業現場から サイファーズ 一十勝農家の挑戦 和歌山マルドリミカン園	19 20
電農館との連携 おわりに プロジェクト参画機関、連携機関リスト	21 22 22